



青い風

小平市立小平第九小学校
コミュニティスクール (CS)
令和8年度 7月号

話し合う

校長 米持 淳一

6月13日の学校公開には、多くの方のご参観をいただきました。ありがとうございました。子どもたちの様子はいかがだったでしょうか。この日は、「こだいら特別活動の日」として、全学級で学級会を行う様子も参観していただきました。本校だけでなく、市内の全小中学校で、同じように学級会の様子を公開し、午後には各校から代表児童が集まり、「児童会・生徒会サミット」を行いました。

さて、私たちは様々な場面で誰かと話し合います。一緒に何かをしたいとき、何かに共感してほしいとき、よりよい考えにしたいとき、自分の意見を通したいときなど、様々な場面で人と話し合います。この、話し合いを一つの土台として、実践的に学んでいく活動が、学級会や行事、クラブや委員会などを行う「特別活動」です。

私が初めて低学年の担任をした時の学級会でのことです。クラス集会で遊ぶ決めようとしていたのですが、「僕はドッジボールがいい」「私は鬼ごっこがやりたい」と、子どもたちの思いが対立してしまい、いつまでたっても決まりそうもないという場面がありました。そこで私は2つのことを話しました。一つは、この集会は、クラスみんながより仲良くなるためにするのだということ。だから、話し合いも仲良く決められるとよいと話しました。もう一つは、みんなは一人一人違うということ。だから、同じ意見にならないこともある。意見が違ったときはぶつけ合うのではなくて、工夫したりゆずりあったりすると、みんなが嬉しい意見になると話しました。子どもたちはそのあと、子どもたちなりに考え、集会ではドッジボールをやることにして、休み時間にみんなで鬼ごっこをやることと決めたように記憶しています。

特別活動において、大切な視点があります。それは「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の3つです。どれも大切な視点ですが、私が第一に考えるのは「人間関係形成」です。「人間関係形成」は、子どもたちが集団の中で、実践的によりよい人間関係をつくっていくという視点です。考え方や立場などの違いを理解した上で、認め合い、互いのよさを生かすような関係性をつくることを目的としています。

九小の子どもたちも、それぞれの学級での話し合いや、決めたことの実践を積み重ねてきております。それが、ひとりひとりのよりよい人間関係につながっていってくれることを願っています。

もうすぐ1学期が終わります。2学期以降も、子どもたちが学校生活の中でよりよい人間関係を作り、笑顔が広がっていくよう、教職員一同一層努力してまいります。ご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

個人面談

個人面談予定調査票のご提出、ありがとうございました。調査票の希望日、希望時間をもとに、7月22日(水)から31日(金)まで個人面談を行います。詳細につきましては、7月に学級担任から配布される予定表をご確認ください。短い時間ですが、お子さんの学校での様子や、家庭での様子を伝え合うことで、夏休みの過ごし方や、二学期以降の学校での活動につなげていけたらと思います。

こだいら特活の日

午前中の学校公開では、たくさんのご参観ありがとうございました。3校時には、全学級で学級会を行いました。自分たちで話し合いを進めていくことは、なかなか難しいことですが、学校生活のことを自分たちで考え、決めて、よりよいものにしていく経験を、どの学年でも積み重ねていきたいと思っています。

午後には市内小中学校の代表者が集まった「児童会・生徒会サミット」が開催されました。6年生が学校を代表して話し合ってきたことをもとに、今後の児童会活動も、同じ校区の学校と協力しながら工夫していきます。

小中連携の日

6月10日(水)に「第一回小中連携の日」が小平三中で開催されました。

「小中連携の日」とは、子どもたちが、中学校への進学によって生じる様々な環境の変化に対して、スムーズな適応を図れることを目指し、年に3回、小学校と中学校の教員が協議をする日です。小平三中学校区(二小、九小、鈴木小、三中)では、「将来に向かって学び続ける子」の育成をテーマとしています。この日は、教員による中学校の授業参観と、「各教科」「健全育成」「体力向上」「特別活動」「特別支援教育」「養護教育」について、各分科会に分かれて協議を行いました。小学校と中学校での学習のつながりや授業の進め方などについて、有意義な話し合いをすることができました。

今回は8月27日(木)を予定しています。

7月の生活目標

規則正しい生活をしよう

【運動会の種目について】

選抜リレーは今年度をもって最後とし、次年度からは全校大玉送りを最終種目とします

本校の運動会のねらいとしております、「運動に親しむ態度の育成」「集団行動を通した学校づくりへの意欲向上」「主体的な参加」「お互いを認め合う気持ちを養う」等の達成を考えた際、選抜された選手が参加する種目よりも、全校児童が参加する種目がより望ましいと考えました。

また、全校競技とすることで、低学年児童が出場する競技をプログラムの最後にもう一度設定できます。そうすると、低学年の児童にとっても、最後まで運動会を自分ごととして捉えやすくなると思います。

新たに1種目追加することも考えられますが、そのためには、運動会の時間が延長されることとなります。現在は午前中で運動会を終えるように予定を組んでおります。最近の気候の状況、こどもたちの体力面、教職員の働き方改革等の面から考え、現実的ではありません。運動会の花形とも言える選抜リレーが果たす役割は大きいものがありますが、全校種目による効果を優先するべきと判断しました。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。